

「第16回くすりと製薬産業に関する生活者意識調査」概要

日本製薬工業協会
広報委員会
広報部

1. 調査目的

医療用医薬品や製薬産業（会社）に対する患者・生活者の理解や認識の実態を把握し、医薬品や製薬産業に対する理解・信頼感を高めるための広報活動の基礎資料とする。

2. 調査概要

- (1) 調査地域 首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）
近畿圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県）
- (2) 対象 満20歳以上の男女（ただし、医療関係者・製薬企業従事者等は除く）
- (3) 標本数 2,424人
- (4) 調査方法 インターネット調査
- (5) 調査期間 2022年（令和4年）7月4日～5日
- (6) 調査機関 GMOリサーチ株式会社

3. 調査結果の要約（※カッコ内は昨年度との比較）

第1章 処方薬の情報とイメージ P15～40

- (1) 処方薬についての説明
 - ・説明実施率 92.5%（2.6ポイント減）
 - ・説明満足度 93.2%（1.8ポイント減）
 - (2) 処方薬の使用実態
 - ・肯定層 96.9%（1.3ポイント減）
【「指示どおり飲んでいる」66.9%＋「まあ指示どおり飲んでいる」30.1%】
 - (3) 副作用の経験・認知
 - ・副作用経験率 27.4%（6.6ポイント減）
 - ・副作用関心層 50.0%（4.4ポイント減）
 - (4) 薬価に対する考え方
 - ・「高いと感じる」 40.8%（5.8ポイント減）
 - ・「妥当な値段」 31.6%（4.9ポイント増）
 - ・「意識したことはない」 23.0%（0.1ポイント減）
- 処方薬の値段決定方法
- ・「知らない」 58.3%（9.9ポイント減）
 - ・「国が決める公定価格」 29.4%（6.2ポイント増）

(5) ジェネリック医薬品の認知

・「新薬」と「ジェネリック医薬品」の認知率	85.4%	(7.9 ポイント減)
選択意向 「ジェネリック医薬品」	53.6%	(2.1 ポイント増)
「医師・薬剤師にまかせる」	31.7%	(1.0 ポイント減)
「新薬」	11.6%	(1.0 ポイント減)
選択理由 「ジェネリック医薬品」： 「価格」	86.1%	(1.4 ポイント減)
「新薬」	：	「品質」 78.7% (2.2 ポイント増)
		「信頼」 66.5% (6.5 ポイント減)

(6) 処方薬のイメージ

- ・「総合的にみて処方薬は信頼できる」肯定層 87.4% (1.4 ポイント増)

第2章 製薬産業のイメージと期待、活動への認知 P43～76

(1) 製薬産業のイメージ

・製薬産業への信頼度	87.5%	(1.8 ポイント増)
イメージ上位		
・「社会的に必要性が高い」	93.3%	(0.8 ポイント増)
・「技術力が高い」	92.7%	(0.2 ポイント増)
・「将来性がある」	88.7%	(0.9 ポイント増)
イメージ下位		
・「自然環境を守ることに熱心」	48.1%	(1.9 ポイント増)
・「情報の提供に消極的」	52.0%	(1.1 ポイント増)
・「消費者の声が届かない」	52.1%	(0.6 ポイント減)

(2) 製薬産業や製薬会社の認知意向

・メーカー名の認知意向「知りたい」	57.5%	(22.6 ポイント増)
理由上位		
・「知っている」と安心	78.7%	(0.1 ポイント減)
・「副作用が起きた時のため」	39.8%	(2.8 ポイント増)
製薬会社からの情報入手意向		
・「入手したい」	74.1%	(1.7 ポイント増)
製薬会社から入手したい情報上位		
・「処方された薬の情報」	75.3%	(7.6 ポイント増)
・「薬の基本知識」	48.0%	(5.0 ポイント減)

【新設】 日本製薬工業協会（製薬協）の認知

・認知率	23.0%
[「知っている」 2.3% + 「見聞きしたことはある」 20.7%]	

(3) 新薬開発、治験についての認知、考え方

新薬開発についての意見

意見上位

- ・「資源が少ない日本にとって新薬開発は必要」 92.3% (1.6 ポイント増)
- ・「長い年月や費用をかけても新薬開発は必要」 92.2% (0.9 ポイント増)

意見下位

- ・「製薬会社は新薬開発の内容を知らせるべき」 80.9% (0.5 ポイント減)
- ・「欧米が進んでいる。日本がやることはない」 22.6% (2.5 ポイント減)

治験の認知度

- ・「認知層」 91.7% (4.4 ポイント増)
- [「ある程度知っている」 45.9% + 「言葉は知っている」 45.8%]

【新設】 治験期間の認知

- ・「知らない」 48.4%、「3～7年」 37.8%

【新設】 治験総費用の認知

- ・「知らない」 54.0%、「数億円以上」 34.7%

治験への参加意向

- ・「参加してもよい」 31.5% (0.8 ポイント増)
- ・「参加したくない」 31.8% (1.2 ポイント増)

理由

- ・肯定層「社会の役に立つ」 66.8% (1.4 ポイント増)
- ・否定層「リスクが怖い」 61.2% (3.3 ポイント減)

(4) 【新設】 医療データの利活用

「医療データがあなたの同意の下、他の医療機関や介護の場面で、医療関係者に開示・閲覧できるようになることを知っていますか？」

- ・医療データ制度の認知率：「知っている」 51.0%

開示意向（認知者ベース）

- ・「メリットがあるので開示したい」 20.8%
- ・「医療データ開示は躊躇する」 10.3%
- ・「どちらとも言えない」 20.0%

「製薬企業が新薬開発や、薬の安全性などを確認するために、あなたの医療データをプライバシーに配慮して活用されることをどう思いますか？」

開示意向

- ・「活用して欲しい」 71.5%
- ・「活用してもらいたくない」 7.0%
- ・「よくわからない」 21.5%

(5) 産学連携に関わる費用についての認知、考え方

製薬会社から業務連携先への研究開発に関わる費用の支払いについて

- ・支払いについての認知率 38.9% (2.5 ポイント減)
- ・支払い情報を公開していることの認知率 19.2% (0.5 ポイント減)
- ・支払情報公開についての評価率 66.3% (0.5 ポイント減)

第3章 生活者の健康と薬・医療とのかかわり P79～98

(1) 健康状態と受診経験

- ・「健康層」73.2% (8.7ポイント減)
[「非常に健康」9.8% + 「まあ健康(普通)」63.4%]
- ・「受診経験層」74.1% (1.4ポイント増)
[「入院」18.0% + 「通院」0.7% + 「入院・通院」55.4%]
- ・処方薬の服用「ある」88.4% (1.9ポイント増)

(2) かかりつけ薬局・おくすり手帳

- ・かかりつけ薬局「ある」 34.7% (4.7ポイント減)
- ・おくすり手帳「持っている」77.1% (6.0ポイント減)

(3) くすり相談窓口の認知

- ・くすり相談窓口の認知率 20.4% (0.2ポイント増)
- ・利用率(認知者ベース) 14.1% (3.2ポイント増)
- ・対応満足度(利用者ベース) 95.7% (2.5ポイント増)
[「とても満足」31.4% + 「まあ満足」64.3%]
- ・問い合わせ内容上位: 「副作用」、「成分・特徴」、「効能・効果」

(4) 【設問更新】健康と薬・医療にかかわる用語の認知

6つの用語に関して「認知率」、「問題意識(言葉の意味を見てどう思ったか)」を調査

- ・「健康寿命」・・・認知率 67.9%、問題意識 71.0%
- ・「AMR(薬剤耐性)」・・・認知率 23.8%、問題意識 61.1%
- ・「ポリファーマシー(多剤併用)」・・・認知率 20.9%、問題意識 58.7%
- ・「患者参画」・・・認知率 13.9%、問題意識 50.5%
- ・「ドラッグ・ラグ」・・・認知率 12.4%、問題意識 59.2%
- ・「創薬エコシステム」・・・認知率 10.0%、問題意識 51.0%

認知率 = 「知っている」 + 「見聞きしたことはある」

問題意識 = 「身近な問題として意識」 + 「知らなかったが重要な問題」

(5) 【新設】医療費・医療保険についての考え方

医療費の国民負担 [考えに近いものをひとつだけ回答]

- ・「国民負担、質が変わらないよう企業や国の努力を望む(負担→、質→)」 44.2%
- ・「負担が増えても、質の高い医療を望む(負担↑、質↑)」 22.7%
- ・「医療の質が下がっても、負担増は望まない(負担↓、質↓)」 9.7%

医療保険制度 [考えに近いものをいくつでも回答]

- ・「国民皆保険制度の継続を望む」・・・60.1%
- ・「財源や給付の見直しは必要」・・・34.6%
- ・「どのような医療保険制度になろうと、国民の負担増は反対」・・・12.2%
- ・「米国のように個人が選べる民間保険にして欲しい」・・・5.0%

(6) 【新設】コロナ禍における健康についての考え方

コロナ禍による「健康・薬・医療への考え方」

- ・「変わった」11.9% + 「やや変わった」27.1% = 変化率 39.0%

変化内容（変化者ベース）【考えに近いものをいくつでも回答】

回答抜粋

- ・「健康意識が高まった」・・・66.8%
- ・「病気の予防意識が高まった」・・・59.6%
- ・「医療従事者への感謝の気持ちが高まった」・・・40.8%
- ・「日本製の薬やワクチンが必要だと感じた」・・・37.8%
- ・「国の医療政策に関心を持つようになった」・・・22.6%
- ・「日本製の薬やワクチンは不要だと感じた」・・・1.9%

以上